



議会だより

2003
平成15年

10月25日発行

No.90

○発行…太良町議会 ○編集…議会編集委員会
 ○〒849-1602 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 0954-67-2151
 ○http://www.town.tara.saga.jp/gikai/



改選後の新議員

ご挨拶

7月の議会議員選挙で新人一名を含む十六名の議員が選出されました。全議員が、協力して、町民の皆様の負託に応えるよう頑張ります。たくさんのご意見を聞かせて下さい。

議長
副議長
議員

田口 久信 田口 忠喜 中溝 誓 田崎 繁義 木下 力人 山下 光章 山口 好 岩島 幸 竹下 武 末次 利男 恵崎 良司 吉田 俊章 久保 繁幸 浜崎 敏彦 坂口 祐樹 見陣 泰幸

新議長

田口 靖



新任ご挨拶

このたび、議員の推挙によって、不肖私
が議長の要職に就任いたしました。

もとより浅学非才の身であり、議員歴も
短いため議会運営がうまくいくのか心配も

ございますが、佳き先輩の指導のもと、議員各位の協力を頂き、議会
運営が円滑に進展するよう、全力を傾けます。

今回の選挙は、市長村合併をひかえて、定数二名減の初の選挙でも
ございましたが、不幸にも大きい課題を残した選挙でもございました。

二十一世紀のはじめに、この町の将来をどう導くのか、平成の市町
村合併問題は、議員に課せられた避けて通れない命題です。

一方、合併するとしないとに拘らず、この町を支えてきた農林漁業
を生業として“再構築”することは、より緊急の課題です。

議会は、町民の代弁者として、町が取り組んでいる課題の解決を促
進するよう町当局に対峙しつつ、同時に町民福祉の向上には、“車の
両輪”の役割を果たせるよう、皆様の一層のご叱声とご支援をお願い
し、就任の挨拶いたします。

所属委員会一覧

総務委員会

委員長	末次利男
副委員長	恵崎良司
委員	田口俊章
	吉坂祐樹
	見陣泰幸

経済委員会

委員長	竹下武幸
副委員長	久保繁幸
委員	坂口久信
	山光章好
	岩島

建設委員会

委員長	田崎誓人
副委員長	下平力忠
委員	中溝繁敏
	木下
	浜崎

特別委員会

(全議員)

●町立太良病院建設特別委員会

●市町村合併特別委員会

●下水道等対策特別委員会

9月定例議会

9月12日から19日まで開会(8日間)
補正予算5,340万円の増額

主な補正

- ・新病院建設に伴う用地買収 2億3,150万円
- ・脳ドック検診委託料 472万円
- ・公民館整備補助金(平野、川原) 556万円
- ・災害復旧費 2,420万円

平成十五年年度一般会計補正予算(第三号)の専決処分

退職手当特別負担金三百八十八万三千円と漁業不振対策特別資金利子補給金の債務負担行為の追加補正。
補正後の一般会計予算の総額は五十二億三千六百六万四千円。

太良町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

公職選挙法の一部改正により、新たに「期日前投票制度」が創設されたことに伴い、告示の翌日から投票日の前日まで「期日前投票所」が設置されることにより、それぞれ期日前投票所の投票管理者・投票立会人」を設置することの内容等による改正。
なお、改正法は、平成十五年十二月一日以降に実施する選挙または審査に適用する。改正内容の詳細については別途チラシにより周知する。

太良町分担金徴収条例の一部改正

事業区分の「林地崩壊防止事業」の賦課基準等「事業費に百分の五を乗じて得た額の範囲内」を「事業費から県補助金の額を除いた額の二分の一範囲内」に改正。

太良町労働者体育センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定

国の「特殊法人等整理合理化計画」に伴い、町が雇用・能力開発機構から「太良町労働者体育センター」を購入したことにより、今後は、この施設を教育委員会所管の一般体育施設として広く町民の利用に供する施設として管理することとした為廃止するもの。

太良町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

太良町労働者体育センターの変更理由

太良町労働者体育センターは財団法人雇用能力開発機構から有償譲渡を受け、勤労者のための施設として利用する必要がなくなった。
これを機会に勤労者はもとより広く一般町民の利用に供するために、施設名を太良町町民体育センターに変更し、教育委員会所管の太良町体育施設として管理していくため。

平成十五年度太良町立太良小学校普通教室棟大規模改修工事請負変更契約の締結

工事施工に伴い、外壁補修の増工、下足入れの仕切板取付追加により、二百二十二万五千円増額し、請負額を八千三百二十八万七千五百円に完成する。

町道認定

今回次の四路線を町道に認定
一、栄町中央線

- 延長 二百十三 m
- 二、栄町阿弥陀線
延長 八十二 m
- 三、野崎線
延長 二百三十三 m
- 四、間石岳線
延長 三百十六 m

平成十四年度各会計の決算認定について

- 一、町立太良病院事業会計
- 二、水道事業会計
- 三、一般会計
- 四、老人保健特別会計
- 五、国民健康保険特別会計
- 六、山林特別会計
- 七、簡易水道特別会計
- 八、漁業集落排水特別会計

以上、八会計の平成十四年度歳入歳出決算の認定を求め、行政実績報告書及び町監査委員の審査意見書を提出し、企業会計及び一般会計等決算審査特別委員会へ閉会中の審査を付託。

平成十五年度一般会計補正予算(第四号)

補正予算の主なものは、地域福祉計画策定及び次世代育成支援地域行動計画策定費二百九十七万円、油津児童館屋根補修及び遊具撤去費三百七十七万円、脳ドック検診委託料四百七十二万五千円、新さが水田農業確立推進事業費補助金七十二万一千円、林業総合センター屋根補修費百十万円、海中道路補修用原材料支給に二百二十一万六千円、地区公民館整備事業費補助金五百五十六万七千円、民芸保存事業

費補助金四十七万円、農業等災害復旧費一千四十万円、道路橋梁等災害復旧費一千三百八十万円、その他各種事業執行に伴う追加補正等で、合計五千三百四十万三千円の増額補正。
補正後の一般会計予算の総額は歳入歳出それぞれ五十二億八千九百四十六万七千円である。

平成十五年度老人保健特別会計補正予算(第二号)

今回の補正は、前年度の国庫及び県費負担金の精算によるものと、前年度剰余金を一般会計へ繰出す経費など九千三十四万四千円の追加補正。

平成十五年度国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

今回の補正の主な内容は、老人保健拠出金及び介護納付金の確定によるもので、一億八千三百四十九万五千円を追加し、補正後の総額は、歳入歳出それぞれ十四億八千四百四十九万五千円となる。

平成十五年度山林特別会計補正予算(第一号)

繰越金三十二万三千円の追加補正及び積立金十七万円の追加補正。

平成十五年度町立太良病院事業会計補正予算(第一号)

補正の主なものは、新病院建設に伴う用地買収費と家屋

移転補償費二億三千五百五十万円の追加補正。

平成十五年度簡易水道特別会計補正予算(第一号)

建設改良費二百五十三万円及び繰越金二百五十五万二千円の補正。

平成十五年度漁業集落排水特別会計補正予算(第一号)

一般会計繰入金百九十万円の補正。

太良町選挙管理委員会補充員の選挙

平成十二年六月に当選された四名の補充員がすべて欠員となったため、地方自治法第八十二条の規定により選挙したものの。
・当選者(四名)
平川 清太 栄町
巨瀬イ子 端古賀
中原 稔 畑田
山田 佳子 亀ノ浦

監査委員の選任について

議会議員選任監査委員の任期満了に伴う後任委員の選任同意を求めたもの。
山口光章氏を選任した。

議長発議

町立太良病院建設特別委員会

市町村合併特別委員会
下水道等対策特別委員会
以上、三特別委員会を設置した。(全議員で構成される。)

町民の声を市政へ

一般質問



我が町の基幹産業（漁業）を守れ

山口 光章 議員

答▼絶大なる支援は惜しまない

有明海の再生は

町長 我が町は、第一次産業を基幹産業としている。最近の景気低迷に加え、ほとんどの産業で不振が続いているが、太良町の水産振興について問う。

町長 有明海の再生事業における事業の種類はどのようなものがあるのか。

町長 タイラギ漁場造成事業、大規模漁場保全事業、アサリ漁場造成事業、海底耕うん事業、漁礁の網がかり除去対策事業がある。

町長 タイラギ漁場造成事業、アサリ漁場造成事業、海底耕うん事業、漁礁の網がかり除去対策事業がある。

町長 県は有明地区に対して予算を組んでいるが、大浦漁協に対しての事業費の振り分けは。

町長 大浦漁業は別として平成十二年度たら漁協がアサリ床の覆砂を1ha、事業費二百万円、平成十三年度に3ha、事業費六

百万円である。

町長 各事業での結果とその成果は。

町長 タイラギは十二月の漁期には生存数は減少し、四年間は漁獲が皆無に等しく三年間は休漁に追い込まれており、アサリについても漁獲量は減少している。

町長 事業をしたことによつての生産量の増減効果はどうであるか。

町長 タイラギは平成十年に四百九十七トン、平成十一年には六十四トン、平成十二年から十四年まではゼロとなっている。

町長 アサリについては平成七年、八年の最盛期の百五十トンに比較して十分の一となっている。

町長 太良町独自の水産業生き残り策はないのか。

町長 「とる漁業から、つくり育てる漁業」を目指

し、ガザミ、クルマエビの放流など鋭意努力をしているし、カキ試験養殖についても意欲的に力を入れていく。

町長 有明海の漁業環境は年々悪化しつつあり、魅力のない基幹産業に終わってしまう可能性が大にあると思う。

町長 水産業の振興にこれまで以上の期待をするが、今後の取り組みと計画性は。

町長 有明海の再生については、特別措置法が昨年施行され、国、県が取組をはじめたばかりだし、国並びに関係六県が有明海再生に向けた対策を策定されたので、現段階では推移を見守りたいと思う。

町長 県の事業において漁業者の不満の声を耳にするが。

農林水産課長 基本的には合併効果の部分はまだ時間がかかっているし、内部問題等もあるようだ。

町長 海底耕うんの効果は。 **農林水産課長** 必ず将来的には漁場回復につながると思う。

町長 トビエイ駆除の成果は。 **農林水産課長** 貝類の被害は間違いなく、少なからず駆除の効果は上向きだと思う。

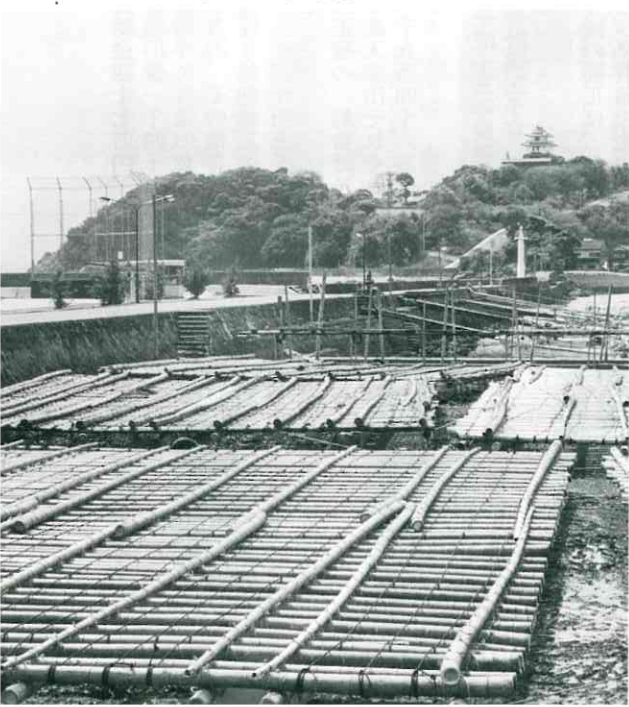
町長 新しい事業も結構だが現在低迷しつつある産業をどう手助けしてしっかりとさせるかというのが先

決だが、担当課の考え方は。 **農林水産課長** 事業をするには自己資金が必要だ。新しい事業を負担金を出してまでというのは大変厳しい現状で、漁民の意見を取り入れて町も最大限の努力をしたい。

町長 観光産業もあるが、太良町は一次産業がメインであり、一次産業がしっかりしていないと町の経済安定はあり得ないと思う。

町長 一次産業と観光をドッキングさせてやるしか太良町の二十一世紀はないと思う。組合が一枚岩になれば、町は絶大なる支援は惜しまない。

新事業カキ養殖用のイカダ





町立病院を立て直そう

坂口 祐樹 議員

答▼改善に取り組んでいる

坂口 病院運営並びに経営の改善を具体的にどのよう

に進めていくのか。

町長 接遇委員会、患者様

満足度対策委員会、収益確保委員会、新病院整備

計画委員会、これら四委員会を発足させ、病院の改善に取り組んできた。

坂口 接遇チームは、どう

いう取り組みをされ、どういう成果があったか。

病院事務長 患者さんを患

者様と呼び、おじぎの仕方、笑顔のつくり方、電話の対応の仕方などを学んでいる。

坂口 患者様満足チームはどうか。

病院事務長 待ち時間の解消やスリッパの整理、照明を明るくしたり、ホームページも作成した。

坂口 患者さんが何を望んでいるかを理解するため

に随時アンケートを実施

できないか。

きている。

坂口 収益確保チームはどうか。

病院事務長 悪性疾患の手術やMRIの導入試算、

あと入院患者がふえるための手段、薬事委員会の設置などを検討している。

坂口 入院患者さんに対して薬剤の服用を指導しているか。

病院事務長 管理指導はしていない。

坂口 一億九千万円の薬品の未使用割合はどれくらいか。

病院事務長 十万円もない。

坂口 ジェネリック(後発薬品)の使用割合はどれくらいか。

病院事務長 六%くらい。

坂口 患者さんの費用負担を減らすためや、財政状況を改善するために安いジェネリックの使用を増やせないか。

病院事務長 経費を抑える意味からもかなりの効果がある

と認識しているの

で、薬剤師と院長とも相談したい。

坂口 一般会計からの繰入

額の推移は。

額の推移は。

病院事務長 十二年度が七

千二百万円、十三年度が

八千八百万円、十四年度

が七千九百万円。

坂口 交付税に算定される額は。

財政課長 十二年度が六千

三百万円、十三年度が六

千二百万円、十四年度が

六千百万円。

坂口 一般会計からの繰入額を交付税に算定されている額にとどめる努力が必要ではないか。

病院事務長 努力していき

たい。

坂口 看護師さんの平均給与はいくらか。

病院事務長 六百五十万円

くらい。

病院事務長 九月末に開設許可が下り、二十六億円の起債許可も内諾されていて、これから用地交渉と実施計画に入る。

坂口 病院経営を立て直すために専門的な知識を持った事務長を民間から公募できないか。

町長 今は最も適役な事務長だと思っている。

坂口 町民の何割が太良病院を利用しているか。

病院事務長 十二年度が二十一%、十三年度が二十二%、十四年度が二十三%。

坂口 もっと利用してもらう手立てが必要だが。

病院事務長 接遇をよくして

て気持ちのいい病院にした

い。

坂口 看護師さんたちの笑顔と対応のよさは、太良病院のセールスポイント

になり得ると思う。

病院事務長 効果はあり、

全体に占める費用の削減

にはつながると認識して

いる。

坂口 新病院の建設スケジュールは。



新病院の建設予定地

病院事務長 生の声を聞くためにやってみよう。

坂口 インフォームド・コンセント

(説明と同意)は

実施でき

ているか。

病院事務長 実施で

ているか。

実施で



伊福埋立地の事業計画は

竹下 武幸 議員

答▼施設は町で運営は民間で

竹下 伊福埋立地は、平成二年度の埋立申請に始まり、平成十一年度で埋立

工事が完了している。現在町有地になっているが、今後の事業計画は

庁内で検討委員会が編成され、補助事業導入など研究されている。

中山間地総合整備事業の加工研究施設の活性化センターが物産館との連携のあるなかで、平成十六年度に建設される計画がある。

目前に迫った行政ゾーンの進捗状況はどうなっているのか。

また他のゾーンはどうなるのか。

町長 活性化施設と物品販売所を平成十六年度に建設する事を前提とし、助役を中心とした建設の予算と附帯工事としての造成工事・下水処理場・水道工

事等に係る予算の積算をしている。

特産品販売所建設には、運営母体の設立が前提であるので、町内の産業団体の事務レベルの協議が必要であり、民間主導の運営母体が出来るか見きわめをする。

全体の土地利用については、五つのゾーンごとに区画し今後の他のゾーンの整備については、町の財政状況等勘案しながら、伊福埋立地全体が集客性の高い施設となるよう検討する。

企画商工課長

土地の利用

構想は、五つのゾーンに分けて、平成十六年度中に行政ゾーン及び地域物産ゾーンを一期工事として計画している。

残りの施設については、その施設が中心になり、横への広がりが出れば

良い。

竹下 国道二〇七号の改良

工事は。

建設課長 毎年県で予算要求をしている。

埋立地の利用計画書を添付して、来年度採択に努力する。

竹下 愛菜館は一生懸命努力をされ経営も良いという中で、問題もあるうけれど中心的な人達が特産品販売所の経営に参加してもらい、町を挙げての埋立地活用的一端を担ってもらえないか。

企画商工課長 商工会を中心とした異業種の会議等でもそういう運営のやり方について、先進地視察及び研修等勉強されている。

愛菜館についても、先見性のある形で見習う点や模範となる事例もあり、全町的に取り組む。

竹下 活性化センターの体験学習は行政主導なのか

民間なのか。

又研修の加工品は販売出来るのか。

土地改良課長 地域農業の振興を図る目的で、地域でとれた特産品の加工・開発・研究をする施設であり利用するのは地域の人である。

加工品を開発また商品化出来れば、特産品販売所で販売するという関連施設でもある。

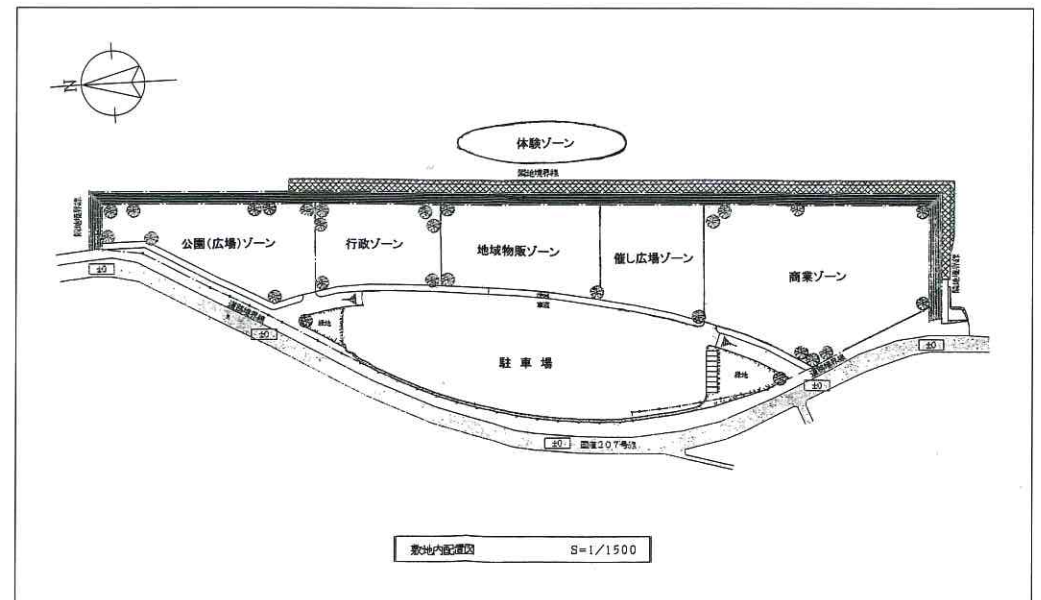
竹下 インフォメーションセンターについては。

企画商工課長 活性化センターの中に情報発信センター・ケーブルテレビの施設等出来るという事で、経費削減にもなるので一緒にしたい。

土地改良課長 県は、農業サイドの情報発信として考えれば可能であろうと前向きに検討するとの事は。

竹下 体験ゾーンでの計画

は。



埋立地の利用構想図

した有明海独特の棚じぶとか三尺網の漁業体験も出来るし、遊漁船クラブとも話し合う。

竹下 商業ゾーンでの民間

導入は。

企業など出来れば町内の方に利用してもらいたい。

企画商工課長 民間活力を

生かした、民間の団体・



中山間総合整備事業の 施工制度を高めよ

末次 利男 議員

答▼地元の要望に応える

家次 中山間総合整備事業は、平成十一年度太良町活性化構想が国の認定を受け、平成十二年度に実施計画が採択され、平成十三年度から五か年の継続事業として総事業費十五億円で現在事業が進捗中である。

事業計画は、農道整備三路線、農業用排水路八地区、圃場整備十一地区、鳥獣保護対策二十六ヘクタールで、未着工の圃場整備については十一月の着工と聞いている。

事業着工に当っては、最終的な事業項目、事業量が決定し、実施計画の県ヒヤリング、農政局ヒヤリング、農水省ヒヤリングとハードスケジュールで担当課も苦労があったと思うが、進捗状況はどうか。

町長 全体事業での進捗率は、平成十四年度末で三六・六七%である。

家次 補助事業は、かゆい所に手が届かない事が多い。

事業そのものは評価しているが、細部にわたる配慮が不足している。

事業の完成度を高めて受益者の満足度を高める対策として県とのパイプをどうされているのか。

土地改良課長

設計基準、施工基準等で若干地元の要望に添えない部分があると思うが、務めて利用される受益者の身になって、積極的に地元の要望を伝える役目を果たしていきたい。

家次

今、費用対効果が問われてはいるが、それを十分発揮するため農家も努力して、将来にわたって持続的に営農する環境整備であり、利便性を高める努力を願っているがどうか。

土地改良課長

設計コンサルは、現地の内容がわからないまま圃場、水路を計画しているので、施工段階で現地に合う形で工事するよう業者にも強く指導をやっている。

家次

活性化施設、農村公園の利活用と構想についてはどうか。

町長

活性化施設は、今年度実施計画で、施工は十六年から十七年になる。農村公園は、大川内地

区を中心としてイベント開催があり、広場や駐車場がなく、要望を受けて整備中である。

地域住民のレクリエーションの場と併せて、イベントを通じた都市住民との交流の場になるよう広報する。

合併に対する住民投票の時期はいつか。

家次 市町村合併問題は、これから先の行財政運営上、避けて通れない重要課題として議論されている。

二市四町案は一月二十四日臨時議会で否決され解消したが、その後の経過で五月十六日の臨時議会で一市一町案の法定協議会設置議案が可決され、六回目の法定協議会が九月九日に開催されている。二十回の法定協議会で五十四項目が予定されており、合併特例法の期限である十七年の三月までのスケジュールとして、住民投票の高いハードルを越えるための賛否の基準となる重要な判断材料の出た適当な時期と思うがその時期はいつか。

町長

現在新市建設計画の

基本構想策定に係り、アンケートの実施、集計、分析作業中であり、完成は十六年三月の予定である。

合併協定項目の検討が同時に進められ、全項目協議終了も十六年三月の予定である。

住民投票の時期については、意志を問う以上、意志を決定するに足りる情報を提供した後であり、現段階では十六年四月以降の早い時期になると想定している。

家次

新市建設計画の基礎資料となる、住民アンケートが太良町、鹿島市の住民基本台帳の一割の四千五百人を対象に実施されているが、内容と結果について問う。

町長

現在、集計分析中であり、回収状況は太良町千三百五十五人中八百六十五人で七十六・二%、鹿島市は三千三百六十五人中二千七百七十六人で八十二・五%で市町合計八十九・九%の回収率で太良町が劣っている。

中山間整備（ほ場）





3期目の進退は

浜崎 敏彦 議員

答▼再度の出馬を決意している

浜崎 二期目も今年十二月十日で任期が満了するわけだが、今後の進退は。

町長 町民の支持がいただけるなら、山積みしている難題を一つ一つ実現することが町民や議会に対する私の責務であると位置づけし、再度の出馬を決意している。

浜崎 三期目を目指す抱負とビジョンについて問う。

町長 自然に恵まれ、先人たちの汗のたまものである太良町を次の世代に引き継ぐためにも、町民の安定と生活向上のために、一生懸命に汗を流し、これまで以上の努力を傾注する覚悟である。

浜崎 平成七年初当選された際、町長として長期的展望に立った町の姿をどう描いていたか。

町長 対話と協調と誠実。これらを政治信条として、政策的には、総合的な施策を実施する中で、一次産業と観光産業をドッキングさせての町の振興を図ることが、二十一世紀の太良町にとって特に重要なことであると考えている。



答弁する町長

また、基本的には学校教育が人材育成の土台をなす重要な過程であることは十分認識しており、次の太良町を担う者は人材育成の場としての位置づけをしたと思う。

浜崎 常に一万一千人の町民の生活安定向上を念頭に置き、政策を実行していくことは、財源不足の折、至難のわざと思うが、トップの判断が早いか遅いかによって、政策面において何らかの影響が出てくると思うが、どのよ

うに考えられるか。
町長 町長という職責は、重大であるから寝ても覚めても我が町をどのように運営していくか、ひとときたりとも脳裏から離れたことはない。
町長就任以来、町としていかなる政策が必要であるか、国・県の動向はもちろんのこと、その判断を誤らないようにやっ

ていかなければならないということがいつも脳裏にある。
地方分権の趣旨と住民の意見、あるいは考え方に耳を傾ける政策の展開

こそが必要不可欠であると考えている。

新病院建設は

浜崎 新病院建設に向けての構想として、今後一番取り組まなければならない課題は何だと考えるか。
町長 まず第一に愛される病院にならなければならない。

そしてまた、町内で唯一ベッドのある病院であるから、町内の開業医さんと連携を組んで、町民の健康を守っていくという責務がある。
新病院建設に当たっては、小児科を前面に打ち出し、出来ることなら小児科医を二人体制にしたいと考えており、意義のある病院として県外からも来られるような病院にできればいいなど、大きな夢を持っている。

また、唯一の病院経営の手立ては、医師・事務局・ナースが三位一体となることだと思ふ。

一次産業の生き残り策は

浜崎 一次産業の二十一世紀の生き残り策は、観光とドッキングさせることであると常々言っておら

れるが、具体策をどのように考えているのか。
町長 我が町は、一次産業がメインである。

一次産業を守ることは、将来に向けての基盤整備であり、これはもう絶対将来的に大事な投資である。
観光農園とか色々言われるが、一次産業が栄えれば観光も商業も栄える。一次産業がないところに観光もなければ、商売もないということであるから、トータル的に観光と一次産業は一体のものであると考えている。



歩道設置が望まれる（糸岐）



国道207号の歩道整備計画は

見陣 泰幸 議員

答▼糸岐橋の拡幅工事後に

見陣 国道二〇七号の維持管理は県土木事務所の管轄であるが、太良町内で歩道がないところは本町から陣ノ内ドライブ休憩所までと、伊福の町境付近だけだと思うが、歩道の整備計画はどうなっているのか。

町長 太良町内の国道延長は、鹿島市境から今里まで一万三千三百二十二メートルとなっており、その内歩道がない箇所は鹿島市境から伊福地区の待永宅前まで七百メートル、糸岐橋から亀崎ドライブ休憩所までの八百メートル、波瀬ノ浦橋から有明石材入り口まで五百メートルの三百メートルである。

全体の比率十二％が未設置箇所となっている。糸岐橋から亀崎間については、波瀬ノ浦と同時に要望していたが、一つ

合併問題

は、この事業は県の単独事業であること、二番目に、県の公共事業に対する予算が大変厳しい状況であること、三番目は、糸岐橋の拡幅工事が十七年度までの継続事業であること、これらのことから県の回答は、糸岐橋拡幅工事後になることである。

合併問題は

見陣 合併問題も最初は二市四町から始まって協議をなされて、今では一市一町で協議されているが、なぜ一市一町なのか。

町長 市町村合併の枠組みについては、武雄市、鹿島市、山内、太良、塩田、嬉野の二市四町で任意の合併協議会を平成十四年七月に設置した。

平成十五年一月二十四日の各市町同時開催の臨

時議会において法定合併協議会設置案を提出したが、鹿島市と太良町のそれぞれの議会が合併協議会設置議案が可決に至らず、二市四町での合併の枠組みが消滅した。

その後、太良町と鹿島市でも将来を考える上で、市町村合併の検討が必要であると両市町で確認され、四月七日に任意の合併協議会を立ち上げ、五月十六日の臨時議会において一市一町の枠組みで法定協議会設置議案が可決され、現在に至る。

見陣 泰幸 議員

見陣 合併した時、しない時の太良町の財政はどうなるのか。

町長 合併協議会事務局では、太良、鹿島の財政担当者も加わり、合併したとき、しないときの財政シミュレーションを策定中である。

今後地方財政について具体的な方策については厳しくなるが、これまで以上財政力格差が生じるのではないかと心配もしている。

見陣 合併しなかったら太良町の財政はあと何年位運営できるのか。

財政課長 現在の状況では、

企画商工課長

住民説明会は、建設計画構想案ができたときに第一回目を行なう。

また、ケーブルテレビでも随時放送しており、住民説明会ではなくて、ポイント的に入れていく。

町長 時間があれば可能な限り何か所かに寄つてもいい、やっていければと思っている。

今後資金の不足に基金を四、五億円程度取り崩して十年弱くらいは大丈夫である。

見陣 合併問題も町民との話し合いの計画はどうなっているのか。

太良町下水道整備計画決定

今後、町内全域を農業集落排水事業と、合併浄化槽事業で整備するよう決定。

町立太良病院新築決定

総事業費 約28億円
平成16年4月 着工予定
平成17年6月 開院予定
現在のベット数46床を、60床に増床し新設する。

広域農道

太良一号トンネル視察



視察状況

九月十二日、全議員で広域農道第一号トンネルを視察する。

総延長、五百五十三m、幅員、車道、六m、歩道、二m、管理道、〇・七五mとなっており、工期が平成十四年十月～平成十六年十二月までとなっており、トンネル掘削工期が平成十五年から約一年としてあるがトンネル工事の掘削作業は順調に進んでおり、十二月に掘削作業が終る予定で、事業費約十五億円であり全町民から一日も早い完成を待ち望まれている。

議会のあゆみ

7月～9月

7・3	議会だより編集委員会	8・31	消防団操法大会
7・7	白浜海水浴場海開き	9・1	下水道等整備構想検討委員会
7・8	第三回合併協議会	9・3	下水道等整備構想事前検討会
7・11	中山キャンプ場山開き	9・4	山林運営委員会
7・15	町議会議員選挙告示	9・5	病院運営委員会
7・20	町議会議員選挙投・開票	9・8	国保運営委員会
7・29	第四回合併協議会	9・9	九月定例議会運営委員会
8・5	当選議員協議会臨時議会(第四回)(初議会)	9・10	議員全員協議会第七回合併協議会
8・11	議員全員協議会第五回合併協議会	9・12	第三回下水道等整備構想検討委員会
8・12	消防団夏季点検	9・17	九月定例議会招集
8・16	議員全員協議会	9・19	広域農道トンネル工事見学会
8・19	下水等整備構想検討委員会	9・19	本会議第二日目(一般質問)
8・25	鹿島藤津地区衛生施設組合議会	9・24	本会議第三日目(議案審議)
8・28	定期議会	9・30	第八回合併協議会
8・29	一期目議員研修会		町立太良病院建設特別委員会

編集室より

七月の改選に伴い編集委員が改選されました。現在、本町では合併の問題や下水道、新病院の新築等重要課題に直面しています。

広報は、町の動きと行政の内容を知ってもらうのが目的です。みなさまのご愛読の程をお願いします。

編集委員会

- 委員長 木下 繁義
- 副委員長 岩島 好
- 委員 恵崎 良司
- 久保 繁幸
- 浜崎 敏彦
- 坂口 祐樹
- 見陣 泰幸

